

平成 17 年度 経営方針

-「信頼され選択される企業」を目指して-

電気事業は、来年 4 月から、全ての高圧受電のお客さまへの自由化範囲拡大とともに、供給区域を越える毎に加算される振替供給料金の廃止や卸電力取引所の運用開始など、従来とは質の異なる厳しい市場競争時代を迎える。一方、産業技術の高度化などにより、高品質の電気に対するお客さまニーズが高まるとともに、地球温暖化防止に対する積極的な取組みが求められている。

このような経営環境のもと、これまで当社は、新たな市場競争時代の到来と志賀原子力 2 号機の運転開始が重なる 17 年度をターゲットに、「2005 委員会」のもと、グループをあげて経営改革を推進してきた。17 年度は、これまでの取組みの完遂が求められる「改革の集大成の年」である。それとともに、電力市場はもとより、資本市場においても競争を勝ち抜くために、企業体質の強化に向けて「新たな展開を図る起点の年」である。

こうした市場競争においては、お客さまから選択されることが事業継続の源泉であり、その基本は「低廉・良質・安定・クリーン」な北陸電力ブランドに対する「信頼」である。このため、良質な電気の安定供給に不可欠な設備保全を始め、業務全般にわたる品質向上に努めるとともに、志賀原子力 2 号機についても、着実な試運転のもと営業運転開始に万全を期す。

また、17 年度は新たな競争環境への移行期であり、お客さまとのご契約の全数確保と更なる需要開発に向けて、個別提案型「技術営業」を積極的に推進するなど、強力な販売活動を展開する。一方、設備投資の抑制や人事・労務諸制度の見直しなど、かねて進めてきた効率化諸施策を確実に実施するとともに、「改革の習慣化」のもと、価格競争力の強化を図る。さらに、地球温暖化防止についても、原子力を最大限に活用するとともに、省エネルギーの推進や新エネルギーの導入など、積極的な取組みを進める。

これら諸施策の展開にあたっては、本格的な連結経営時代を迎えるなか、北陸電力グループの企業価値向上を目指し、経営資源の全体最適化に向けグループ全体での取組みを強化するとともに、グループ各企業においても積極的に体質改善を進めるなど、グループ総合力の強化を図る。

以上、企業の社会的責任を果たしつつ競争に打ち勝つには、従業員一人ひとりの難局に立ち向かう気概が不可欠である。災害復旧時に発揮した強い使命感と団結力のもと、グループ総合力を結集し、「Power & Intelligence でゆたかな活力あふれる北陸を」の企業理念に基づき、以下の重点事項の達成に向け迅速果断に取組み、「信頼され選択される企業」を目指す。

- 1．業務品質向上など信頼される企業活動の推進
- 2．市場競争を勝ち抜く販売活動の展開
- 3．継続的な効率化による競争力強化
- 4．環境保全への取組みと活力ある企業風土の構築

以 上